

庁 議 録

招集年月日	平成 25 年 11 月 5 日 (火)							
開会時刻	午後 1 時 30 分	閉会時刻	午後 2 時 50 分					
開催場所	庁議室							
出席の状況 (○出席者、代は代理出席)								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	—
4	総務部長	○	5	直轄理事	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	理事兼政策監	○	9	健康福祉部長	○
10	産業部長	○	11	建設部長	○	12	上下水道部長	○
13	教育部長	○	14	こども部長	○	15	伊達総合支所長	○
16	梁川総合支所長	○	17	保原総合支所長	○	18	霊山総合支所長	○
19	月舘総合支所長	○	20	議会事務局長	代	21	会計管理者	○
代理出席者	20 議会事務局長							
職務のため出席した者	健康福祉部次長、産業部次長、総合政策課長、健幸都市推進室長、総務課長、人事課長、秘書広報課長、財政課長							
案件説明のため出席した者								
付 議 事 案 協 議 事 項	<p>1. 議題</p> <p>(1) 第 5 回伊達市議会定例会提出議案について 【総務部】</p> <p>2. 報告</p> <p>(1) 公民館から交流館への取り組み方針について 【市民生活部】</p> <p>3. その他</p> <p>(1) 「住民自治と行政展開」研修会について 【市民生活部】</p> <p>(2) 特別職主要業務予定について (11 月上旬期)</p> <p>(3) その他</p>							

## 庁 議 の 内 容 (協 議 経 過、結 論 等)

### 1. 議 題

#### (1) 第 5 回伊達市議会定例会提出議案について 【総務部】

各担当部長から提出議案について説明があった。

No. 6 まちなかサロン条例及び No. 8 健康公園条例については、今期の提出を取り下げる旨報告があった。

市長 : 消費税による条例改正は水道だけでよいのか? 手数料等はどうなのか?

財務部長 : 手数料、使用料については、現在調整・検討中である。3月議会に上程するものが出てくると思われる。

副市長 : 水道については、各市町の対応はどうか?

上下水道部長 : 4月分の使用料から課税ということで、1、2ヶ月の周知期間が必要であると判断した。近隣の動向については確認する。

### 2. 報 告

#### (1) 公民館から交流館への取り組み方針について 【市民生活部】

市民生活部長から資料に基づき、公民館から交流館への移行の意義等について説明があった。

市長 : 交流館は各総合支所の所管となる。単に看板の架け替えではない。目的をよく理解して、地域活性化の突破口にしてもらいたい。そういう意味では、総合支所長の考え方ひとつで、それぞれ違った運営でいいし、やり方はいろいろあってよいと思う。

副市長 : 表題の「公民館から交流館への取り組み方針」に対して、現状の公民館の問題点が説明不足のように思える。もしくは、(表題を)「交流館の設置について」として、設置目的を明確に打ち出したほうがよいのではないか。

梁川総合支所長 : 現在も施設管理、地域づくりを担っているが、生涯学習など事務分掌を洗い出して整理する必要がある。

会計管理者 : 平成 26 年度については、現在の体制のまま移行するものと理解してよいか。

市民生活部長：人員は別として現体制を維持し、27年度に向けて運営体制を構築していく。

梁川総合支所長：使用料についてはどうか？

市民生活部長：現在の使用料を交流館条例に移行するが、地域活動等については減免措置等に対応することになる。

市長：一定のルールと公平性のある運用をすること。

産業部長：林構センターや構造改善センターは、廃止となるのか？

副市長：基本的にそういう考え方で進めることになる。

総務部長：条例等の廃止が必要となるので整理してほしい。

### 3. その他

(1) 「住民自治と行政展開」研修会について

(2) 特別職主要業務予定について（11月上半期）

(3) その他

- ・おくすりに関する市民講座
- ・草野仁氏講演会
- ・小田切徳美氏講演会
- ・議会報告会

## 市長発言要旨

藻谷浩介氏の講演会が行われると新聞に載っていた。県主催の「阿武隈地域シンポジウム」で基調講演をするもので、パネルディスカッションには、伊達市地域おこし支援員の桜田君がパネリストとして参加することになっている。ぜひ、出席したいと思っている。

藻谷氏は、「里山資本主義」の著者で「マネー資本主義」という言葉に対して「里山資本主義」という言葉をつくった人である。中山間地に限らず伊達市としても里山を使って何ができるか?「里山資本主義」というキーワードで考えてみる必要がある。

日本は中山間地があるから豊かな社会があるといっても過言ではない。中山間地のよいところは、里山があるということ。今、里山の生活が放射能によって破壊されている。

伊達市は放射能対策として生活圏2年、農地5年、森林30年とういことで除染に取り組んでいるが、おおむね生活圏の除染が完了し、来年度は健康管理を含めて新たな展開が求められることになる。

職員も里山資本主義・里山振興ということに関心を持って、業務を遂行してもらいたい。